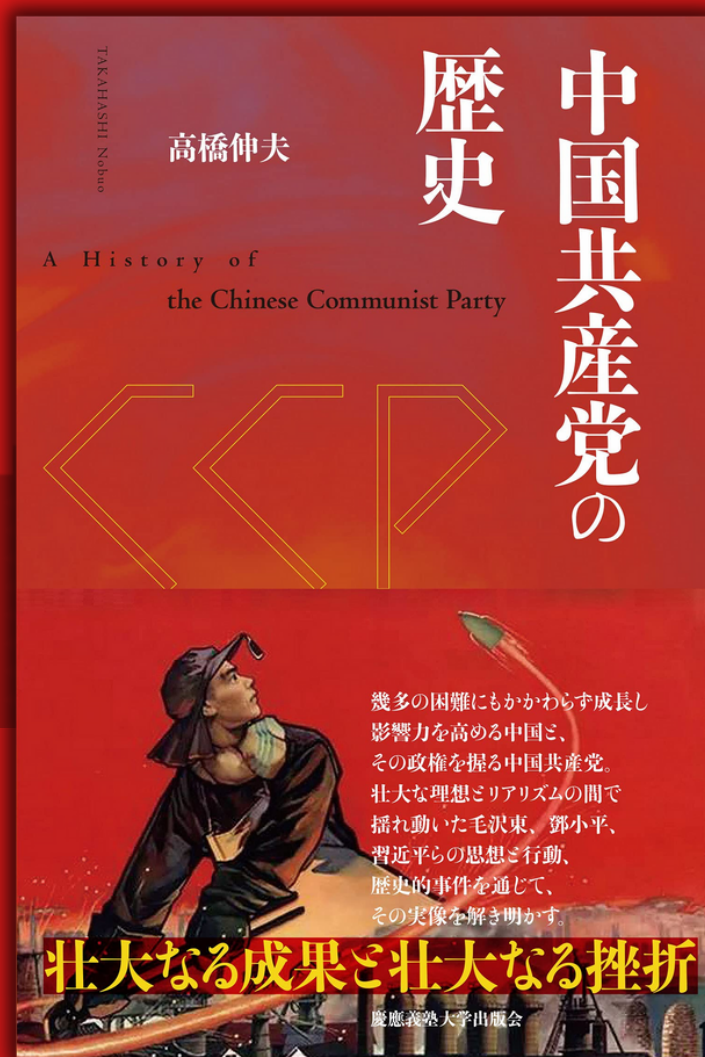


HISTORY OF THE CCP 中共百年史書評会



石川禎浩『中国共産党、その百年』筑摩書房



高橋伸夫『中国共産党の歴史』慶應義塾大学出版会

期日：2023年3月5日（日）13:30～17:20

会場：京都大学人文科学研究所4階大会議室

司会

江田憲治（京都大学名誉教授）

評者

楊奎松（華東師範大学教授）

丸川知雄（東京大学教授）

谷川真一（神戸大学教授）

* 要申込・無料 会場参加のみ受け付けますが、会場収容人数を超えた場合にはお断りすることがあります。

* 中国語による論評と討論部分については、適宜日中間の通訳をつけます。

* お問い合わせ：zhoujun@iss.u-tokyo.ac.jp

主催：東京大学グローバル中国研究拠点

共催：京都大学人文科学研究所附属現代中国研究センター

申込フォーム



#中共百年史書評会

趣旨

中国共産党の結党百年にあたる一昨年、日本では石川禎浩『中国共産党、その百年』（筑摩書房）、高橋伸夫『中国共産党の歴史』（慶應義塾大学出版会）が出版され、日本の中国研究の力量を内外に示すものとして高い評価を受けています。

このたび、中国近現代史研究の重鎮として知られる楊奎松氏の来日を機に、文革研究の最前線を走り続ける谷川真一氏をお招きし、中国経済研究の丸川知雄も参加して両書の合同書評会を開催し、多様な視点で中国共産党の百年史を議論する場を設けました。当日は濃密な議論を期して対面のみのお会合とし、江田憲治氏の司会進行のもと、評者三氏による論評ののち、著者の応答、さらに総合自由討議という次第で進行します。



著者紹介

石川 禎浩

京都大学人文科学研究所教授。中国近現代史。著書に『中国共産党成立史』（岩波書店）、『革命とナショナリズム：1925-1945（シリーズ中国近現代史3）』（岩波新書）、『赤い星は如何にして昇ったか』（臨川書店）など。

高橋 伸夫

慶應義塾大学法学部教授。中国近現代史。著書に『中国革命と国際環境：中国共産党の国際情勢認識とソ連1937年～1960年』（慶應義塾大学出版会）、『党と農民：中国農民革命の再検討』（研文出版）など。

評者紹介（登壇順）

楊 奎松

華東師範大学歴史学科教授。中国近現代史。著書に『中間地帯的革命—中国革命的戦略在国际背景下的演变』（中共中央党校出版社）、『西安事变新探—張学良与中共關係之研究』（台北東大圖書公司）、『中華人民共和国建国史研究』（江西人民出版社）など。

丸川 知雄

東京大学社会科学研究所教授。中国経済。主著に『現代中国経済 新版』（有斐閣）、『現代中国の産業』（中央公論新社）など。共著に『タバコ産業の政治経済学』（昭和堂）など。

谷川 真一

神戸大学国際文化学研究科教授。現代中国の政治と社会。主著に『中国文化大革命のダイナミクス』（御茶の水書房）、監訳に『文化大革命：人民の歴史1962-1976』（人文書院）。

中公フォーラム



主催：東京大学グローバル中国研究拠点

共催：京都大学人文科学研究所附属現代中国研究センター